

テーマ：「月明かりの下で学んだ事」(市立琴ノ浦高校・城内高校)

稲村 皆さん、こんにちは。尼崎市長の稲村です。

今回は、秋の特別企画として、市立琴ノ浦高校・城内高校の皆さんによる番組をお届けします。それでは、琴ノ浦高校・城内高校の皆さん、どうぞ。

全員 月明かりの下で、学んだこと！

南 皆さん、こんにちは。尼崎市立琴ノ浦高校 放送部 1年の南です。

小川 同じく放送部 1年の小川です。

放送部 よろしくお願ひします！

南 尼崎市立の学校が順番にこの番組に出ているみたいですが、本校は、市立尼崎高校さんや双星高校さんとは違う「夜の高校」ということで、タイトルが「月明かりの下で学んだこと」になっています。

小川 ということで、ここで本校の紹介をしたいと思います。尼崎市立琴ノ浦高等学校は、創立2年目の新しい学校です。尼崎市立尼崎工業高校と、尼崎市立城内高校、この伝統ある2校の合併校です。生徒数は、全校生徒合わせて約300人の、定時制高校にしては大きな学校です。ほとんどの生徒は、昼間に仕事やアルバイトをし、夕方、学校へ登校します。

南 1クラス20人という少人数制の学級で、生徒と先生の距離が近く、何でも相談できる環境です。授業は夜の9時10分に終了し、その後、10時までの限られた時間で、クラブ活動も行っています。

小川 もちろん学校行事も、夜に行われます。10月の末には、月明かりの下で体育祭がありました。どうでしたか、初めて夜に体育祭したのは？

南 新鮮でしたし、緩い感じだったんですけど、気楽にみんなが楽しめる体育祭であったと思います。小川君は、どう思いましたか？

小川 ま、夜ってということもあったんで、一人ひとりの個性が発揮できる場でもあったかな、と思います。

南 なるほどね。また、本校では、希望者のみ自衛隊に体験入隊ができます。そして僕たちも、夏休み2泊3日の体験入隊へ行ってきました。どうでしたか？

小川 10キロの重りを背負って、10キロを歩いたじゃないですか。

南 はい。

小川 あれしんどかったですよ。

南 はい、しんどかったですね。でも、しんどかったですけど、意外と楽しかったですよね。

小川 楽しかったですね。

南 でもそれで、また学んだこともありましたね。

小川 自衛隊の上下関係のあり方や、厳しさ、礼儀も教わりましたね。

南 はい。

小 川 こんな楽しい学校なんですけど、実は僕たちは、本校が第一志望ではありませんでした。本当は全日制の学校を受けたのですが、落ちてしまって、琴ノ浦高校の二次試験を受けました。落ちたとき、どう思いました？

南 相当、気が沈みましたね。

小 川 落ちましたね。じゃ、琴ノ浦に来てよかったと思ってることは何ですか？

南 よかったと思ってることは、僕らの年代と、それよりもっと上の年代が、同じ学年として、一緒にすごせて、コミュニケーションがとれることです。小川君は何か思いましたか？

小 川 今まで「朝に学校」っていう感じだったじゃないですか。それが「夜」ってなったからちょっと、気分も変わりましたね。

南 試験に落ちたときは、相当落ち込んだんですけど、琴ノ浦高校を受験するときに前向きな気持ちにさせてくれた曲です。SPICY CHOCOLATEの「愛スルモノ」です。懐かしいですね。

小 川 定時制高校といえば、様々な年齢の生徒がいますが、今回は、僕たちと同じ琴ノ浦高校1年生の 富田 博 さんをゲストでお呼びしています。富田さんは1951年生まれ、鹿児島県出身、現在は、新聞配達をした後、学校に登校しています。富田さん、こんにちは。

富 田 こんにちは。

南 今回、富田さんをお呼びした理由ですが、10月26日の神戸新聞に、「定時制通信制高校生生活体験発表会」に入賞した富田さんの作文が掲載されました。僕たちもその作文を聞かせてもらったのですが、人生の先輩として、同じ学年の1人として、素敵なお話を聞かせていただけたらなと思って、お招きしました。富田さん、よろしくお願いします。

富 田 よろしくお願ひします。

小 川 さっそくですが、富田さんが鉄工所に入社して、定年退職するまでのお話を、聞かせていただいてもよろしいですか？

富 田 中学校のとき、授業がわからなくて、学校に通うのが苦痛になったのです。そして、高校には進学せずに、自衛隊に入隊したり、整備士として働いたり、職を転々としていました。

しかし、世間が徐々に不景気になり、大学卒業や高校卒業などの学歴がないと、就職できない時代になってきました。30歳の頃、やっとの思いで、町の小さな鉄工所で働くことができました。しかし、鉄工所は、設計図をもとに製品を作る職場なので、図面が読めないと仕事できません。私は、数学が嫌いだったので、図面の内容が全く理解できませんでした。会社に迷惑をかけてしまうし、また、毎日、辞めることばかり考えていたのです。

そんなある日、大手企業の下請けの仕事が入りました。私は、いつものように弱気で逃げていたのですが、そのときの現場の班長さんの一言で、考えが変わったのです。

南 なんておっしゃられたんですか？

富 田 「富田、いつまでも逃げるな！俺は許さんぞ！そんなことは通用しないぞ！」とおっしゃったのです。それから辛抱強く、私に教育してくれました。私は、涙が出るほど嬉しかったです。

それから、私は一念発起し、図面をしっかりと見て、自分で材料や道具を集めて、わからないところは、恥ずかしがらずに色んな人に訊いて、品物を作りました。その品物が完成して、社内検査に合格して、お客様に購入してもらった時は、嬉しくてたまりませんでした。

「やればできる」という自信がつかましたし、それから鉄工所での仕事は充実し、毎日、明るく楽しい生活を、定年退職まで過ごしました。

小 川 素敵な話ですね。富田さんの思い出の曲が、「みかんの花咲く丘」だと聞いていますが、これは。どのような思い出がこもっているんですか？

富 田 この歌を聴くと、故郷 徳之島での母との思い出が、鮮やかによみがえってきます。「ふるさととは遠くにありて思うもの。そして悲しくうたうもの」なり、です。

小 川 では、僕たちも、富田さんの故郷を思い浮かべて聴こうと思います。「みかんの花咲く丘」。

南 素敵な曲ですね。富田さん、琴ノ浦高校に入学したきっかけはありますか？

富 田 退職後は、自由な時間が多くあるので、「昔苦手だった数学の勉強でもしてみようかな」と思って、小学生の問題集を買って勉強したのです。その時にやっと、数学の面白さに気付いたのです。気付くのは遅かったですが、私は勉強に目覚めました。「もう一度勉強したい！学校へ行きたい！」、そう思うようになって、入学しました。

小 川 現在、琴ノ浦高校での生活はどうですか？

富 田 思っていたとおり、数学の授業がわかりません。ですので、今は、中学校の問題集を買って、勉強をしています。今度は逃げません！必ず授業についていけるように、がんばりたいです。

小 川 数学の授業以外はどうですか？

富 田 数学の授業以外でも、苦勞を感じていることが多くあります。体育の授業で、サッカーやバスケットなどは、こんな年寄りがあると、若い人たちに迷惑をかけているようで、心苦しく思います。他の授業でも、孫のような世代の若者が、私に遠慮していて、コミュニケーションがうまくとれず、苦勞しています。

しかし、現在の学校生活は、とても新鮮に感じています。若い頃の忘れ物を取りに来たような感覚です。青春のやり直しをさせてもらってます！

小 川 琴ノ浦高校を卒業したらやりたいことって、ありますか？

富 田 農業の実習へ行って、そのあと、農業をやってみたいと思っています。君たちは、卒業したらやってみたいことがありますか？

南 実は僕も、農業をやりたいんです。小川君はどうですか？

小 川 僕は、卒業したらみんなでバーベキューがしたいですね。

富 田 これからあと2年、バーベキューするためにがんばりましょう！

3 人 おー！

南 スピッツの「チェリー」でお別れしたいと思います。

ここまでは、琴ノ浦高校1年の 南 智樹 と、

小 川 小川 暁 と、

富 田 富田 博 で、お送りしました。

3 人 ありがとうございます！

稲村 市立琴ノ浦高校・城内高校の番組はいかがでしたか？

それでは、次回の放送もお楽しみに。

以 上